

○ 中学校社会 第3学年 ⑥

「わたしたちの暮らしと経済」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	間接税について理解しているかを見る、基礎的・基本的な問題である。	公民的分野 (2)イ 国民の生活と政府の役割			◎
(2)	消費税増税に関して、反対の理由を消費税の負担額の資料から考えて、論述する問題である。	租税の意義と役割について考えさせる活用問題である。 問題を解く際には、既習事項である「対立と合意、効率と公正」をもとに、様々な資料を根拠に理論的に論述することが大切である。		◎	○
(3)	消費税増税に関して、賛成の理由を日本の人口構成の変化や、社会保障給付費の推移から考えて、論述する問題である。	授業で学んだことを、日常の具体的な事例を通して考えさせながら、現代社会をとらえる見方や考え方の深化を図ることをねらいとしている。		◎	○
(4)	賛成・反対のそれぞれの理由と、年齢別平均所得金額の資料を総合的に考えて、消費税増税の理由を理論的に論述する問題である。			◎	○